



AOI・レジデンス・クワルテット

with

菅沼準二 (ヴィオラ)

©武藤章



日本ヴィオラ界の巨匠、菅沼準二をゲストに迎え、
モーツァルトの弦楽五重奏曲を
AOI・レジデンス・クワルテットとして初めて挑む。
ベートーヴェン・チクルス第6弾となる
弦楽四重奏曲第3番にも乞うご期待!!

曲 目

L.v.ベートーヴェン：弦楽四重奏曲第3番 二長調 op.18-3

M.ラヴェル：弦楽四重奏曲 へ長調

W.A.モーツァルト：弦楽五重奏曲第4番 ト短調 K.516 *



● AOI・レジデンス・クワルテット

松原勝也 (ヴァイオリン)

小林美恵 (ヴァイオリン)

川本嘉子 (ヴィオラ)

河野文昭 (チェロ)

● 菅沼準二 (ヴィオラ)*

主 催：静岡音楽館AOI 指定管理者 (公財)静岡市文化振興財団

特別協賛：静岡信用金庫

協 賛：AIWA アイワ不動産



小田 豊

ホテル センチュリー 静岡

ANSHINDO

支 援：平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業

静岡市文化振興財団
Shizuoka City Cultural Promotion Foundation

2017

11/11 土

18:00 開演 (17:30 開場)

静岡音楽館 Aoi ホール (8F)

全指定 ¥3,500 (静岡音楽館倶楽部会員¥3,150)

※お得なセット券もございます。詳しくは裏面をご覧ください。

22歳以下
¥1,000

AOI・レジデンス・クワルテット2017 聴き逃せないモーツァルトの「ト短調」五重奏曲

「モーツァルトのかなしさは疾走する。涙は追いつけない。涙の裡に玩弄するには美しすぎる」とは、終戦直後の昭和21年暮れに小林秀雄が季刊誌『創元』に発表した評論「モーツァルト」の一節だ。スタンダーやアンリ・ゲオンのモーツァルト観(tristesse allante 進行する悲しみ)に通じるものであるが、ここで小林が言っているのは評論中に4小節の楽譜で示された「ト短調」弦楽五重奏曲K.516(1787年)の第一章冒頭の主題のことだ。しばしば「モーツァルトのト短調」というテーマで、2つの「ト短調」交響曲(K.183とK.550)と共に論じられる傑作だ。ヴァイオリン2提を必要とするこの作品、今回はレジデントの川本嘉子に加えてヴェテラン名手の菅沼準二を迎えての演奏ということで演奏史に残るような名演が期待される。

いつものベートーヴェンは弦楽四重奏曲第3番「二長調」(1799年)で、初めて取り組んだ6曲セット中で最も早く完成された作品であり、実質的にベートーヴェンの最初の弦楽四重奏曲だ。師・ハイドン(1732～1809年)やモーツァルト(1756～91年)の作品研究の末に生まれた意欲作。そして、ベートーヴェンからほぼ一世紀後のM.ラヴェル(1875～1937年)が生涯にただ1曲残した素晴らしい響きをもつ弦楽四重奏曲「へ長調」(1903年)の3曲のラインナップは弦楽四重奏曲様式史の歴史パノラマの展開そのものだ。

平野昭(音楽学)



菅沼準二(ヴァイオリン) Junji SUGANUMA (Va.)

東京藝術大学専攻科修了。ヴァイオリンを岩崎洋三、ヴァイオリンを井上武雄の各氏に師事。巖本真理弦楽四重奏団に長く在席し、ヴァイオリン奏者としての力量を認められ、弦楽四重奏の研鑽を積んだのち、1976年、NHK交響楽団に首席ヴァイオリン奏者として入団。ソリストとしてもNHK交響楽団の定期公演にしばしば出演したほか、室内楽のヴァイオリン奏者としても多くの音楽家から信頼を集めている。90年、NHK交響楽団。第7回毎日芸術賞、第9回有馬賞受賞等、数多くの賞を受けている。90年4月より東京藝術大学教授。2005年3月、東京藝術大学退官。2005年4月より東京藝術大学名誉教授。オホーツク音楽祭ディレクター、紀尾井シンフォニエッタ東京団友。ジャパン・ストリング・クワルテットのメンバー。



AOI・レジデンス・クワルテット
AOI RESIDENCE QUARTET

1995年、静岡音楽館AOIの開館とともに、その専属弦楽四重奏団として松原勝也、小林美恵(ヴァイオリン)、白尾信子(ヴァイオリン)、安田謙一郎(チェロ)、いずれも日本を代表する弦楽器奏者たちにより結成された。98年にチェロが河野文昭に交替、2001年、ヴァイオリンは川本嘉子が後を継いだ。W.A.モーツァルトとシューベルトをたびたび採りあげ、また2000年には三輪眞弘：弦楽四重奏曲(皇帝)ハ長調(静岡音楽館AOI委嘱作品)を世界初演するなど、古典から現代までは幅広い作品で優れた演奏を提供しつづけ、とくに2004年のバルトーク：弦楽四重奏曲第1、3、6番の圧倒的な熱演は歴史的な名演といえる。これまでにP.ロジェ、野平一郎、横山幸雄、田部京子(ピアノ)、佐久間由美子(フルート)、P.メイェ(クラリネット)、福田進一(ギター)の各氏ほかと共演、弦楽四重奏曲を中心に多彩なプログラムで聴衆の耳を愉ませてきた。2010年には菊川文化会館アエル、伊豆市生いきプラザ、御前崎市民会館、グランシップなど静岡県の各地で演奏。2015年11月には上野学園石橋メリアルホールで初の東京公演を開催し成功を収めた。今後の活動がますます期待されている。2013年、静岡県文化財団第26回地域文化活動特別賞受賞。2014年度静岡県文化奨励賞受賞。



松原勝也(ヴァイオリン) Katsuya MATSUBARA (Vn.)

1963年東京生まれ。東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。クライスラー国際コンクール、ティボール・ヴァルガ国際コンクール等で上位入賞。新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスターなどを歴任。無伴奏リサイタルシリーズ、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏、武満徹室内楽作品全曲演奏、新曲初演、ジャズミュージシャンとのコラボレーション、即興演奏など幅広い活動を展開している。2007年にはロンドン・ウィグモアホールでリサイタルを開催。2001年から2010年まで第一生命ホールで行われた若い演奏家のためのアドヴェント・セミナー、北九州響ホールフェスティバルなどをプロデュース。2012年、東京・春・音楽祭において、J.S.バッハ：ゴルトベルク変奏曲の弦楽五重奏版を初演し、好評を得た。また、長崎OMURA室内合奏団の創立当初から共演を重ねており、現在では深い信頼関係を築いている。第17回中島健蔵音楽賞、第55回文化庁芸術祭新人賞受賞。AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー、長崎OMURA室内合奏団アーティスティックアドバイザー、霧島国際音楽祭講師、東京藝術大学音楽学部教授。



小林美恵(ヴァイオリン) Mie KOBAYASHI (Vn.)

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1983年、第52回日本音楽コンクール第2位。84年、海外派遣コンクール河合賞受賞。88年にはシュブア国際ヴァイオリン・コンクール第2位、あわせてソナタ賞を受賞。90年、ロン＝ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、国内外で日本を代表するヴァイオリニストとして活躍。CDは、「プレイズ・クライスラー」、「ヴァイオリン名曲集」など多数リリース。2010年は、紀尾井ホールにてデビュー20周年記念リサイタルを好演。11月には、ロン＝ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。2012年には、パキスタンで行われた日パキスタン国交樹立60周年の記念演奏会に出演。そのほか、海外公演にも多数出演。2015年はデビュー25周年を迎え、2015-16年の2年間で5回の記念リサイタルのほか全国各地で公演を行っている。現在、昭和音楽大学客員教授。AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー。



川本嘉子(ヴァイオリン) Yoshiko KAWAMOTO (Va.)

1992年、ジュネーヴ国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門最高位(1位なしの2位)。96年、村松賞、97年、第7回新日録音楽賞・フレッシュアーティスト賞受賞。ソリスト・室内楽奏者として最も活躍しているヴァイオリン奏者の1人。京都アルティ弦楽四重奏団、AOI・レジデンス・クワルテットのメンバー。桐朋学園でヴァイオリンを江藤俊哉、鈴木愛子、室内楽を末吉保雄、原田幸一郎の各氏に師事。在学中より演奏活動を開始。91年、東京都交響楽団に入団をきっかけにヴァイオリンに転向。99年より2002年の退団まで首席奏者を務める。タンゲルウッド、マールボロ、ダボス、東京の夏、霧島国際音楽祭、サイトウ・キネンフェスティバル松本、別府アルゲリッチ音楽祭等のフェスティバル、小澤征爾音楽塾、水戸室内管弦楽団等に参加。M.アルゲリッチやY.バシュメットなどと共演し絶賛を博している。C.ミヨフンとも室内楽で日本・韓国公演を行なった。ソリストとして、これまでにG.ベルティニ、J.フルネ、P.マークなどの著名な指揮者と共演。



河野文昭(チェロ) Fumiaki KONO (Vc.)

京都市立芸術大学卒業。1982年に文化庁在外派遣研究員としてロサンゼルスで、その後ウィーン国立音楽大学にて研鑽を重ねる。黒沼俊夫、G.ライト、A.ナヴァラの各氏に師事。84年、帰国後は独奏者としてリサイタルやオーケストラとの共演を重ね、フィンランドの作曲家、J.コッコネンのチェロ協奏曲やイタリヤのL.ベリオの無伴奏曲《セクエンツァXIV》などを本邦初演する。また室内楽演奏にも積極的に打ち込み、現在、アンサンブル of トウキョウ、紀尾井シンフォニエッタ東京、AOI・レジデンス・クワルテット、岡山潔弦楽四重奏団などのメンバーとして、国内外に幅広く演奏活動を行っている。第50回日本音楽コンクールチェロ部門第1位(81)、京都音楽賞(90)、大阪府文化祭賞(92)、京都府文化賞功労賞(2004)等を受賞。現在、東京藝術大学教授として後進の指導にもあたっている。

静岡音楽館AOI・インフォメーション(7F)
Tel.054-251-2200(月・休)

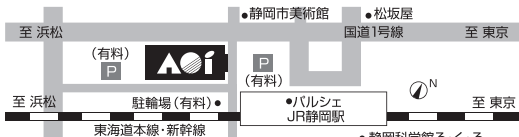
- * 受付時間9:00～21:30(休館日を除く)。発売初日のみ電話予約は13:00より。
- * お電話予約の際の座席の指定はご遠慮ください。
- * 一般券以外は、静岡音楽館AOIのみでお取扱いたします。
- * クレジットカードでお支払いいただけます。



静岡リビング新聞社 Tel.054-255-1231(土・日・祝・休)
チケットぴあ(Pコード：310-158) Tel.0570-02-9999
ペイドリーム清水水、アクティシティ浜松、ザ・スエズ堂浜松西インター店、ららぽーと磐田、セブン・イレブン、サークルKサンクス(一部地域・店舗を除く)など

- 次のことを予めご了承の上、チケットをお求めください。
皆様のご理解・ご協力をお願いいたします。
- * 価格は税込です。
 - * 都合により内容を変更する場合があります。
 - * お客様のご都合によるチケット代の返金、座席の変更は致しかねます。
 - * 場内での飲食、写真撮影、録音、録画は固くお断りいたします。
 - * 携帯電話、アラーム付時計等の使用はご遠慮ください。
 - * 演奏中のご入場はお控えください。
 - * 静岡音楽館AOIは、施設の構造上、会場準備が整わない状態(開場時間前)で、お客様を8階ホールへご案内することができないため、通常エレベーターは7階止になっております。開場時間になるまで1階エレベーター前か、7階ロビーでお待ちください。1階エレベーター前でお待ちいただいたお客様を最優先してご案内いたします。
 - * 他のお客様の鑑賞の妨げとなる行為は固くお断りいたします。
 - * 未就学児はご入場いただけません。

JR静岡駅北口を出てすぐ左 静岡中央郵便局 合同建物内



至 浜松 至 東京

●静岡市美術館 ●松坂屋 国道1号線

至 浜松 駐輪場(有料) ● ●パルシェン JR静岡駅 至 東京

東海道本線・新幹線 ●静岡科学館・くる

*当館専用の駐輪場・駐車場はありません。

東京・名古屋から新幹線ひかり号で約1時間!

CONCERT HALL SHIZUOKA
静岡音楽館 AOI

開館 9:00～21:30 月曜日休館(ただし祝日開館、翌日休館)
〒420-0851 静岡市葵区黒金町1番地の9

TEL 054-251-2200 AOI 検索



一般発売
6月17日[土]より

会員先行発売
6月10日[土]より

託児サービス

要事前予約(1週間前まで)・託児料：1人1,000円
すわん Tel./Fax.054-255-5377
(火～金 10:00～15:00)
e-mail : swan@xqj.biglobe.ne.jp
留守番電話の場合は、お名前・お電話番号を録音してください。